

全国協議会 ニュース

2012年12月1日発行
第246号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒101-0031 東京都
千代田区東神田1-3-4
KTビル3F
TEL.(03)5823-6360
FAX.(03)5823-6365
発行責任者:中野勝博
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

「英・独・仏」造血細胞バンク 事情見聞記(その1)

骨髓移植推進財団における末梢血幹細胞移植の導入、さい帯血バンクネットワーク内の再編、造血細胞提供推進法制定、骨髓バンクとさい帯血バンクの合同大会開催など、造血細胞移植医療を取り巻く環境は、いま、大きく変わりつつあります。新たなステージに向けて動き出した我が国の造血細胞バンク・造血細胞移植医療を後方あるいは側方で支援し、時には先頭に立つて鼓舞するためにも、私たちボランティアは常に新たな情報を吸収し、先達の足跡に学ばねばなりません。そのような意図の下、全国協議会では10月28日から11月4日にかけて、デルタ航空マイレージプログラムを活用して三田村理事と野平理事の2名を欧州に派遣し、イギリス・ドイツ・フランスの3カ国の造血細胞バンクを訪ねて、情報取

集ならびに意見交換を行ってまいりました。現地での模様を、今回は海外初渡航となった野平理事に、数回にわたって報告していただきます。

この視察は、およそ7日間で3カ国を回るために7日間のうち4日間はほぼ移動のみに費やされるという強行軍でしたが、語学堪能かつ旅慣れた三田村理事の助けを借りて、有意義に日程をこなすことができました。
2010年5月に、近い将来のわが国での法整備を視野に入れて、野村副会長らにより米国での造血細胞バンク事情調査が行われましたが、本年9月の「移植に用いる造血細胞の適切な提供の推進に関する法律」制定を思うとき、その前史の一ページを飾ったと言えるかもしれません。しかし、この法律の運用はこれからであり、法律の受益者としていべき患者や社会にとって真に役立つものとするためには、細部を十分に検討し、既存のシステムとの整合性を図らねばなりません。私たちはこれまでにも理想的な造血細胞移植医療像を模索してきましたが、根拠法制定後の新たな姿を想い描くために、海外バンクの歴史や現状に学ぶべき点があるのではと考え、



ANTでの「ドナー登録の流れ」紹介ポスター

今回の訪問とあいなりました。我々が最初に訪れたのは、英国のアンソニー・ノーラン・トラス（ANT）でした。ANTの設立は1974年であり、世界で最初の骨髓バンクと言えます。その名に冠された少年は先天性免疫不全症にたおれましたが、骨髓移植を受けられれば助かったかもしれないとの思いが家族を突き動かして、バンクの設立につながったのだそうです。まず、英国の移植事情ですが、英国では移植のおよそ90%が末梢血幹細胞移植（PBSC）です。そのため、日本での非血縁者間のPBSCの実施数やPBSCに必要入院日数がBMTより長いことに驚かれています。我々はその原因として、日本骨髓バンクの長



ANTのスタッフとともに (左端：三田村、右端：野平)

名称変更で再スタート 骨髓・さい帯血バンク議員連盟

衆参両院の国会議員により超党派で構成される「骨髓バンク議員連盟」が11月6日に総会を開くとの連絡をいただき、全国協議会からも、野村副会長と中野理事長がオブザーバーとして出席しました。1995年の「骨髓バンクを応援する若手国会議員の会」発足当時から会長を務め



議員連盟の総会風景

渡辺孝男参議院議員より「造血細胞移植提供推進法(略称)」について、これまでの経過が報告され、その後、オブザーバーとして参加した団体にも発言する機会をいただいたので、全国協議会を代表して野村副会長が、「患者のための法律となるよう、その視点で考えていただきたい」と要望を伝えました。当日配布された名簿には衆議院議員36名、参議院議員21

東日本大震災 被災者支援基金

10月21日～11月20日

黒田 多喜男 現金 5,000円
としまふれあいバザール募金箱 現金 6,655円 (敬称略)

寄付受入 合計8,559,536円
給付実績 45件 合計8,363,163円

基金積み増しにご協力ください
●郵便振替(通信欄に震災支援と記載)
特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会
00150-4-15754
●銀行の場合
特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951

期的な安全性へ危惧を挙げましたが、先方もGICSFへの危惧には共感されています。次いでドナー事情ですが、ドナー登録者数は45万8千人です。日本(42万人)と大差はありません。しかし、英国の人口は6,100万人です。人口比で比べると2倍以上のドナーがいることになりま。また、ドナーの

としまふれあいバザール 手に汗握るさんま釣り

11月3日、文化の日。池袋西口公園にて「としまふれあいバザール」(豊島区明るい社会作りの会主催)が開催されました。あいにくの曇り空で、果たして人が集まるのかと心配でしたが、冷たい風や寒さも何のその、多くのお客さんが集まりました。10時の開始とともに、ステージでのフラダンスや和太鼓の演奏を観賞する人、広場で掘り出し物を探す人などで、大賑わいとなりました。そして我が全国協議会の

名、合計57名のお名前がありました。総会からわずか10日後の11月16日に衆議院が解散したため、本紙が皆さまのお手元に届く頃には選挙戦の真っ最中だと思われま。既にメンバーとなつて議員の方々だけでなく、新たな



としまふれあいバザールの様子

と趣向を変えてみました。この作戦は大成功でした。もちろん、お子さんに付きそう親御さん方に、ギフト・オブ・ライフの手渡しは怠らず、啓発もバッチリです。また、物販ブースでは偶然通りかかったドナー登録者の方が数名、「頑張つて下さいね」と声を掛けて下さったりと、嬉しい出会いもありました。

全国協議会へのご寄付は控除対象になります その②

認定NPO法人として認定されたことにより、全国協議会への個人からのご寄付に対して税法上の優遇措置があることは、前々号でも説明しました。今回は法人が寄付した場合、また相続や遺贈によりご寄付された場合について説明します。

<法人がご寄付された場合>
認定NPO法人へのご寄付は、一般の損金算入限度額とは別枠で損金算入ができます。

確定申告書に全国協議会が発行する領収証を添付し、事業年度に支出した寄付金のリストを提出すると、損金算入分は所得税、法人税が課税されません。

損金算入額 = 一般の寄付金に係る損金算入限度額 + 認定NPO法人等に対する寄付金に係る損金算入限度額

<相続や遺贈によりご寄付された場合>
認定NPO法人へのご寄付は、相続税の課税から除外されます。相続や遺贈により財産を取得した方が認定NPO法人へご寄付された場合、相続税の申告時に全国協議会が発行する領収証を添付し、申告書に必要事項を記入すると、寄付金分は相続税が課税されません。

課税対象 = 相続や遺贈による財産 - 認定NPO法人への寄付金

※相続税の申告期限までにご寄付いただいた場合に限りま。

◎注意点
寄付金の優遇措置制度の詳細については、国税庁または所轄税務署におたずねください。
寄付のお申し出は、全国協議会事務局までお気軽にお問い合わせください。

共催イベント 北から南から

青森県弘前市
鳴り響くプラスの音
活動への思い新たに

りんごの収穫が終盤に入った11月17日、弘前市で全国協議会ほかの共催で第13回市民公開講座「骨髄移植を知ろう」を開催しました。

今回は、「病と生きる患者・家族の心のケア」と題した青森県立保健大学の中村由美子教授の講演の後、実際に骨髄移植を受けた患者さんとご主人のお二人から、苦悩の日々と、様々な人たちに支えられて今がある喜びをお話いただきました。

アトラクションは青森山田中学高等学校吹奏楽研究会による「いのちのリレーコンサート」。会場の弘前大学記念会館にはプラスの音が鳴り響きました。

この公開講座がスタートした頃は全国最下位だった本県骨髄ドナーの人口当たり登録者数も現在は第21位と骨髄移植に対する関心と理解が広がってきたと感じています。今後もこの活動が発展的に継続していくようにと、関係者一同思いを新たにしました。(血液疾患と歩む患者・家族の会まろまろ 山本)



東京都新宿区
チャリティーコンサート
新たなトリオで魅了



東京の会は10月31日、全国協議会の共催支援を得て、ルーテル市ヶ谷ホールにおいて、第20回骨髄バンクチャリティーコンサート「ピアノ三重奏の夕べ」を開催しました。

昨年は東日本大震災による影響で、夜間使用できない公共施設が多く、会場の確保ができずお休みのため、2年ぶりの開催となりました。長年ピアノを担当されたフィリップ・ヤングさんがご都合で来日できなくなり、ヴァイオリンの三戸さん、チェロの小澤さん、フィリップさんとザルツブルグのモーツァルト音楽大学の同窓生ティム・レーベンスクロフトさんが英国から来日され、ピアノを担当されました。

ハイドン、シューマン、ベートーヴェンのピアノ三重奏曲が新たなトリオにより演奏され、見事なハーモニーに聴衆はすっかり魅了されました。この日のお昼には新宿モノリス・アトリウムで昼休みコンサートを開催し、サラリーマンやOLの皆さんの疲れを癒すことができたのではないでしょう。(東京の会 新田)

宮城県石巻市
草の根運動で20年
盛り沢山の記念企画

6月に引き続き11月10日から18日まで、宮城骨髄バンク石巻支部設立20周年記念「つなげよういのち！パート2」第11回骨髄バンク・いのちの輝き展 in イオンモール石巻」を開催しました。展示は、あやちゃんの絵、MAMOの詩、さつこの笑顔。初日のイベントではワナー・マイカル・シネマズ新石巻大劇場でプロの朗読ユニット「きんぐぎら」による「いのちのメッセージ」読み聞かせを行ない、涙、涙のオンパレードでした。最終日は、前会長の大谷貴子さんのミニ講演、チャリティーライブがありました。今回も大勢の方々に展示を見ていただき、成功裏に無事終了しました。本当に多くの方々に支えていただいた20年でした。来年は他地域のイオンさんでの「輝き展」開催も決まっています。

(宮城の会 石巻支部 小野)



亀山絃・石巻市長も、じっくりご覧になりました

北海道釧路市
いのちの輝き展開催
登録のきっかけにも

10月20・21日の2日間、イオンモール釧路昭和サンコート広場で「いのちの輝き展 in イオンモール釧路昭和」を開催しました。イオンモールにはぶらつと946献血ルームが開設されており、ドナー登録者も増加傾向



にあるため、更なる登録者の獲得を目指して、骨髄バンクの理解を促したいとの思いで開催しました。当日は、合わせて40点と少ないながらも、あやちゃんのお手紙と内容は盛りだくさんで、会場で足を止めて下さった方々に興味深くご覧いただきました。亡くなられた患者さんの御家族が足を運んで下さったり、今から登録してきます」と、声をかけていただいたり(私たちはお買い物のお客様に献血の呼びかけができませんでした)うれしいこともありつつ、充実した2日間でした。(釧路の会 小川)

千葉県千葉市
フルセットは13年ぶり
あやちゃんの贈り物展

10月30日～11月5日まで、千葉市の後援と、さとう千葉店の御協力のもと、同店地階ギャラリーにおいて「いのちの輝き展」あやちゃんの贈り物」を開催



ギャラリーでするので活動はできませんでしたが、関心を持って見てくださる方がとても多く置いてあったチャンスは7日間で60部出ました。若い方々がチャンスを手に取り、バラバラとめぐり、そして持つて行ってくださる姿に熱いものを感じました。3日にはあやちゃんのお父さんが来てくださり、70点フルセットを展示できる広いギャラリーに感激されていました。さとう千葉店のデータにより、7日間で約4万1千人の方々に見ていただけたとのこと。あやちゃんからの贈り物が千葉県民の皆さんの心に広がっていることを願っています。(千葉の会 西島)

鹿児島県鹿屋市
健康・交流都市かのや
念願かない初イベント

鹿児島で長くボランティア活動していますが、鹿児島市から海を隔てている大隅半島にある鹿屋市では、いまだ啓発イベントをしたことがありませんでした。

今回大隅地区出身の音楽家姉妹から支援の申出を受け、地元ロータリークラブ、ライオンズクラブ、薬剤師会などの協力もいただき「骨髄バンク支援『愛のコンサート』」を11月4日、鹿屋市文化会館で開催しました。この地区初めてのイベントでもあるため、声楽コンサートのほかに医療講演会、白血球体験



2012/11/4 3:56pm

皆様はじめまして！私は岐阜骨髄献血希望者を募る会の勝又輝也と申します。岐阜の会は、かの有名な田中重勝さんが会長を務めていらっしやる会で、地元登録会などで活動をさせてもらっています。私自身、骨髄提供者でありここ数年の間で、私に与えられた2回のドナーカードを切らせて頂きました。身をもって骨髄バンクの重要さと命の重さを感じました。

それからホームページで岐阜の会を知り、思いきって会の扉を叩きまして今に至ります。会に入ってから老若男女と、ほんとは多くの方と知り合うきっかけができて、日々充実した生活を送らせてもらっています。昨年11月の協議会ニュースでは、私の娘が書いた「夏休みの統計グラフ作品」も載せていただき、これからは自分なりに少しでも骨髄バンクのことを知ってもらいたく、活動していきたいと思っておりますので、これからもよろしく申し上げます。

大垣のボランティア大会の時の写真です。となりは娘の咲絵(ささ...小6)です。

心からのご寄付に 感謝申し上げます

10月21日～11月20日

鹿屋市薬剤師会	現金	50,000円
肝属薬剤師会	現金	50,000円
ベスト電器鹿屋本店	現金	15,000円
鹿兒島トヨペット(株)鹿屋支店	現金	10,000円
竹里庵コンサート 関谷 徳衛	現金	50,000円
中村 あや	現金	20,000円
鈴木 純子	現金	1,340円
飯島 孝枝	現金	2,340円
渋谷 俊徳	現金	10,000円
中山 朋子	現金	500,000円
須藤 勝巳	現金	4,601円
坪内 明澄	現金	1,000円
黒田 多喜男	現金	5,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
匿名	現金	5,000円

●白血病患者支援基金

株式会社イータス	現金	20,897円
嶋津 桂子	現金	3,000円
安東 慎次	現金	1,541円

●佐藤さち子患者支援基金

OCTVチャリティゴルフ	現金	107,401円
MRIインターナショナル,INC.	現金	18,000円
財団法人 倉敷中央病院	現金	3,119円
安藝 恭介	現金	15,000円
坪内 明澄	現金	1,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655
郵便振替口座 00150-4-15754
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
※国税庁より「認定NPO法人」として認可されていますので、寄付控除の対象となります。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする 骨髄バンク NOW

(財団マンスリー JMDP (11月15日発行) より抜粋)

- 先月の骨髄バンク推進月間について
先月は骨髄バンク推進月間でした。今年も全国各地で骨髄バンクの啓発イベントやドナー登録会等が数多く開催されました。10月の骨髄バンク推進月間期間中にご登録いただいた方は、前月の9月を962人上回る4,179人となりました。
- 「第7回研音グループチャリティーオークション」が開催されました
10月16日から22日まで、俳優の唐沢寿明さんを始めとして、多くのタレントのご協力を得て、「第7回研音グループチャリティーオークション」が開催されました。オークションには18点が出品され、落札価格は270万円を超え、全て財団へのご寄付としていただきました。
- 阪神タイガースの藤川球児投手が「第14回ゴールデンズスピリット賞」を受賞
2007年から長きにわたり骨髄バンクをご支援いただいている阪神タイガースの藤川球児投手が、このたび、プロ野球人の社会貢献活動を称える「第14回ゴールデンズスピリット賞」を受賞することになりました。藤川投手は、2007年にご自身が骨髄バンクにドナー登録を行い、モバイルサイトの収益金をご寄附いただいているほか、白血病などの血液疾患の子どもたちを公式戦に招待するなど数多くの活動を通じて骨髄バンクをご支援いただいています。また、2007年から不登校児童延べ1,800人を公式戦に招待する活動も行っており、こうした幅広い社会貢献活動が評価され今回の栄えある受賞となりました。
- ◆日本骨髄バンクの現状(平成24年10月末現在)

	9月	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,217	4,179	421,875	560,637
患者登録者数	244	262	2,859	37,095
移植例数	120	120	-	14,843

- 9月の年齢別ドナー登録者数(現在数)
10代 2,686人 / 20代 71,093人 / 30代 153,219人 / 40代 156,052人 / 50代 38,825人
- 10月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム / 1,195人、献血併行型集団登録会 / 2,705人、集団登録会 / 187人、その他 / 92人
- 10月の20歳未満の登録者378人

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。平成24年7月より集計方法が変更されました。